

# むらかみ

市議会だより



第58号

令和2年2月15日



[特集] 行政視察レポート …… 2～3ページ

第4回定例会

市政を問う!!15人が一般質問 …… 4～12ページ

委員会の審査報告 …… 13～15ページ

議決結果 …… 16～17ページ

広報特別委員会の行政視察 …… 12ページ

高校生と議会の懇談会 …… 18ページ

閉会中事務調査 …… 19ページ

インタビュー …… 20ページ

## 市民の宝 輝く瞳

第55回 百人一首かるた大会  
(瀬波地区)

たくさん取るのは難しいけれど、自分の好きな句は絶対に取りたいと思って頑張った子どもたち。一人一人が練習の成果を発揮して真剣な眼差しで札を取っています。

素晴らしい日本の伝統文化を子どもたちもしっかりと守り、これからも未来に向けてつないでいて欲しいと願っています。

# 常任委員会の行政視察レポート

村上市議会では、他自治体等の施策を学び、議案審議や行政課題の解決、市政に対する施策の提案などに反映させるため、毎年、行政視察を行っています。

## 総務文教

### 村上の誇りを全国へ

都城市では、返礼品を日本一の肉と焼酎に限定し、納税者の興味を引き付ける戦略で特化し、平成26年から「日本一の肉と焼酎セット」を返礼品としました。その結果、それまで年間300万円程度だった納税額が5億円まで増え、平成27年度42億円、平成28年度73億円、平成29年度75億円、平成30年度95億円と納税額が

急増し、毎年全国トップクラスの実績を誇っています。全国に都城市を知ってもらうことを目的にふるさと納税を推進。地元事業所で組織するふるさと納税振興協議会と一体となり、全国放送や首都圏を中心に新聞広告でのPRなどメディアを活用した取り組みに加え、東京や大阪で都市ファン感謝イベントを開

催するなど、地名と地場物産がリンクする戦略的な取り組みは年々強化され、年度ごとの効果を検証していました。さらに物産振興を軸にしたまちづくりを目的とした専門部署も設置され、課題とされていた返礼品の大量供給にも耐える安定的な体制が構築されています。本市でも平成26年度で約100万円だった納税額も年々増加し、平成30年度では約3億4千万円となりましたが、ふるさと納税を歳入の確保だ

けに留まらず、本市のPR戦略と捉え、さらなる発信強化も必要だと感じました。



都城市役所での視察の様子

## 市民厚生

### 親子のふれあいの場を提供

上山型温泉クアオルト事業は、自然環境や温泉、食などの恵まれた地域自然を活かし、市民の健康増進、交流人口の拡大による地域活性化を目指した取り組みです。人口減少、高齢化率や国民健康保険医療給付費、宿泊客数の減少など大きな課題がありますが、健康寿命の延伸や交流人口拡大により市民の健

康に対する意識も高まっています。城下町、温泉、食のまちと地域資源が豊富な本市に共通したこの事業は、新たな集客の仕掛けや活性化の起爆剤として参考となる研修でした。屋内子ども遊び場「キッズピアあしかが」は、社会福祉法人足利むつみ会が運営。子どもから大人まで、心・頭・

体を思い切り使って遊べる、国内最大級の最新型の屋内子ども遊び場の取り組みです。親子のふれあいの場の提供、子どもの体力・知力の向上、障がい者の雇用創出、空き店舗活用による地域の活性化などの効果もたらされているとのこと。本市では子育て世代からの要望に対応するものとして、閉校となる小学校を活用して屋内の遊び場を整備する計画があり、親子の触れ合いの場を通じて社会性・協調性が育

まれることが期待されます。さらに、病児保育との併設も考えていきたいと思えます。



キッズピアあしかがでの視察の様子

# 先進に学び、活性化に

**経済建設**

## 地元商店街と大型店が連携

「とまチョップポイント事業」とは、苫小牧市、地元商店街、大型店（イオン）が連携し、市内の加盟店のみで使える地域ポイントを発行して市内で循環させることにより、市外への買い物流出を抑制し、地域経済の活性化につなげる事業です。

イオングループで発行している「ご当地WAON（とまチョップWAON）」カードを使用しており、加盟店にて現金で買い物をする時100円につき1ポイントが付くほか、市のイベントやボランティアに参加してもポイントが付きます。また、WAONで決裁をすると、決済額の0.1%が市に寄附される仕組みとなっております。

市内の健康増進施設や公共施設を利用するとポイントが付くことから、市事業への参加率の向上や健康寿命の増進による医療費の削減にもつながるものと感じました。

カード発行数は、事業導入時（平成28年9月）500枚だったものが、令和元年9月現在約5万枚。なお、課題としてキャッシュレス決済との競合、貯まったポイントの消費が進みづらいことが挙げられるとのこと。

本市でも、経済の活性化を図るとともに、社会貢献活動を



苫小牧市役所での視察の様子

や健康増進事業等の市主催の事業促進を図る観点からも必要な施策であると感じました。

### ■総務文教常任委員会

10月7～9日

視察先	内 容
大分県 日田市	日田祇園の曳山行事について 伝統的建造物群保存地区について
宮崎県 延岡市	「わかあゆ教育プラン」について
宮崎県 都城	ふるさと納税について

### ■市民厚生常任委員会

10月23～24日

視察先	内 容
山形県 上山市	上山型温泉クアオルト事業について
栃木県 足利市	社会福祉法人足利むつみ会公益事業 屋内子ども遊び場「キッズピアあしかが」について

### ■経済建設常任委員会

11月5～7日

視察先	内 容
北海道 江別市	江別市都市と農村の交流センター 「えみくる」の取組について
北海道 苫小牧市	とまチョップポイント事業について
北海道 石狩市	道の駅石狩「あいろーど厚田」について 漢方生薬生産体制確立支援事業について

各常任委員会の行政視察の報告書は、村上市議会のホームページをご覧ください。



村上市議会 行政視察報告



# 市政を問う!!

15人が  
一般質問

12月5日・6日・9日の3日間の日程で行われた一般質問に15人の議員が登壇しました。

質問および答弁の要旨を質問順に掲載します。

一般質問の原稿は、質問者が作成したものを掲載しています。

一  
般  
質  
問  
(1)

**1** 鈴木いせ子議員 **5**

1. 令和元年度の稲作と来年度への対策について
2. ふるさと納税の取組について
3. 閉校になった学校の跡地利用について

**2** 河村幸雄議員 **5**

1. 学校給食の課題について
2. 地域経済の活性化について

**3** 山田 勉議員 **6**

1. 熊出没対策について
2. 村上市人口減少対策について
3. 村上市スケートパークについて

**4** 川村敏晴議員 **6**

1. 市所有施設の運用計画について
2. 空き家バンク制度の現状と今後の課題について

**5** 嵩岡輝夫議員 **7**

1. ふるさと納税95億円の都城市と本市の違いについて
2. 観光客数増加の施策と瀬波温泉の活性化について
3. 市役所敷地内の看板等について

**6** 佐藤重陽議員 **7**

1. 人口減少と向き合う行政運営の在り方について
2. 旧香藝の郷美術館購入問題について

**7** 本間善和議員 **8**

1. 更なる被災住宅リフォーム事業の拡充について
2. 義援金等の取扱いについて
3. 避難路の照明と高齢者の避難対応について
4. 有害鳥獣対策について

**8** 鈴木一之議員 **8**

1. 医療的ケアを要する子どもの在宅医療、訪問診療について
2. 農福連携について
3. 子ども子育て支援について

**9** 小田信人議員 **9**

1. 本市の経済活性化事業について
2. 森林セラピーロードの整備について
3. スケートパークの現状について

**10** 木村貞雄議員 **9**

1. 今年の稲作状況について
2. 今後の公共施設について
3. 日下地内にある「創設非農用地」の利活用について
4. 旧香藝の郷美術館の利活用について

**11** 高田 晃議員 **10**

1. 村上市の人事評価制度について
2. 総合体育館の耐震改修工事について
3. 重要伝統的建造物群保存地区指定への取組について
4. 業務改善に向けた取組について

**12** 稲葉久美子議員 **10**

1. 教職員の働き方改革について
2. 地域医療と保健医療について

**13** 平山 耕議員 **11**

1. 市町村合併後12年の検証について
2. 市スケートパークの運営状況について
3. 官民連携による空き家対策について

**14** 竹内喜代嗣議員 **11**

1. 異常気象による風水害対策について
2. 木造住宅耐震改修補助金について
3. 高校生が希望の持てる村上市を創ることについて

**15** 渡辺 昌議員 **12**

1. 農林業への施策について
2. 観光への施策について
3. 商工業への施策について



村上市議会  
映像配信



クリック!!

# 今年度稲作と来年の対策は

**問** 令和2年産米の適正生産率は、

**答** 市内5地区別で荒川77・1%、神林16・6%、村上21・4%、朝日27・6%・山北84・7%となっている。品質低下の主な要因は、台風10号のフェーン現象による異常高温と乾燥の影響であり、格落ちの理由のほとんどが「除く青未熟」と「心白粒」である。

令和2年産に向けた管内の対策は、岩船農業振興協議会作物部会において関係機関と連携し、令和元年産の分析と作柄・品質の向上に向けて検討している。県においても「令和元年産米の品質に関する研究会」を設置し、内容を公開している。



鈴木いせ子 議員



カントリーエレベーターに積み上げられた岩船米

産量が設定されたことを踏まえ、主食用米からの転換をどのように考えるか。

**答** 岩船米の基本戦略の考えの下、需要動向や集荷業者等の意向も勘案し、需要に応じた米生産を産地一体となつて取り組むこととしている。同時に、産地交付金等を活用し、輸出用米や加工用米、備蓄米等の非主食用への転換を図ることで、過剰生産による価格低下を防ぎ、生産者の所得確保が図られるよう、生産者および関係機関と協議を行う。

**問** 農地の荒廃が進んでいるが、市では現状を捉えているか。

**答** 農業従事者の高齢化や後継者不足により保全管理が困難となつたためであり、中山間地域が鳥獣被害を受けやすい。条件不利農地を農地中間管理機構と連携支援していく。

## 町屋再生 未来に誇れる町へ

**問** 「歴史的風致維持向上計画」は、村上地区において、歴史・伝統文化を継承する町の羅針盤として期待されているが、その推進状況は。

**答** この計画は、地域固有の活動や歴史的な建造物、町並みを保全・保存しながら地域の活性化を目指した計画であり、本市では、村上大祭で引き廻す「おしゃぎりの似合町並み整備」を合言葉に事業を進めている。令和元年11月現在、34件の建造物を歴史まちづくりにおける貴重な建造物として指定し、保存のための支援を行ってきた。



活気ある町並みに甦らせよう



河村 幸雄 議員

来年度についても多数の建造物所有者から、補助金交付の要望をいただいている状況である。

**問** 歴史的風致維持向上計画の取り組みが市民と行政の協働により進められ、これこそが地域の活性化、共生していく姿だと思つ。まちづくりのための人材育成、そして地域の活動へどのように支援していくか。

**答** 歴史資源を保存・活用する市民活動が活発に行われており、代表的な例として、町屋を保存再生する建造物所有者に独自の補助金を交付している「村上町屋再生プロジェクト」に対しては、市の外観修景補助金を併せてまちづくり団体から補助金交付をお願いし、連携を図りながら進めている。今後、市民の皆さまや各種団体との連携・協力を図り、歴史的建造物の保存、町並み景観の保全に努めていく。

# 熊出没への対策は

**問** 今年は、山中の木の实などが凶作、冬眠前の熊が人里に姿を現し、人的な被害が報告され、毎日のように熊の出没が見られるが対策は。

**答** 市民の安全・安心の確保を最優先に、熊と遭遇することを最小限にとどめるため、防災無線で注意喚起を行っているところである。来年度以降も、熊の食糧となる奥山のブナの実が不足した場合、市街地への出没が懸念されることから、関係機関と連携して安全・安心に努めていく。



熊出没の注意喚起看板



山田 勉 議員

口減少に歯止めをかけるのか。

**答** 村上市でも、進学を契機に若い世代が市外に転出することが大きな要因となっており、奨学金返還支援制度などによるリターンのきつかけづくりも行っているが、転出超過を解消できていない。引き続き多方面から取り組みを進める。

**問** 市長は、村上市のスケートパークは「商業ベースにも乗る」と新潟日報の取材で発言していたが、それについての具体的な内容は。

**答** スケートボードの練習や競技大会の開催だけでなく、プロライダー等によるエンターテインメント性の高いショーやイベントの開催による利用なども考えられる。「音楽とスポーツを融合したコンサート」など民間企業による営業・事業活動にも期待しており、今後も多方面での活用に努めたい。

## 施設整備と総合型クラブ運営



川村 敏晴 議員

**問** 市内スポーツ施設について、スポーツ施設整備計画の手順との関係を踏まえ、今後のスケジュールは。

**答** 市スポーツ施設整備計画を基本としつつ、施設の安全性の確保、類似施設の集約化などを検討し、今年度中に施設整備の方針を整理する。

**問** 健康志向の高まりもあり増加する、各総合体育館のランニングコースの昨年度の利用人数は。

**答** 山北2622人、朝日6470人、神林1万9833人、荒川1万6719人である。

**問** 施設の統廃合が図られた場合、市のスポーツ施策を市に代わって行っている、各地区の総合型地域スポーツクラブの職員の



神林総合体育館

労働環境の補償はなされるのか。

**答** 各スポーツクラブは、それぞれ一法人として運営されているものであり、市として経営の補償について言える立場ではないものと考ええる。

**問** 空き家バンク制度の開設から現在までの成果はどうなっているか。

**答** 平成23年10月から本年11月までに、29世帯61人が移住され、季節利用の方が6世帯13人である。

**問** 空き家になる前に、第三者への住居等売却や賃貸を希望する人に、空き家バンクのように市から情報発信はできないものか。

**答** 空き家になる前の情報発信も空き家解消の有効な手段と考えられるので、情報発信のタイミングは今後検討したい。

# 「皇后陛下ゆかりの地」に

**問** 平成30年度ふるさと納税が95億円の都城市と約3億3千万円の本市の違いをどう認識しているか。

**答** 都城市では、返礼品の種類が豊富であること、提供できる返礼品の量が十分

**問** この看板は記念ではなく表示のためである。皇后陛下になられた祝意を表す看板にしてみたいとの意見も多いが。

**答** 歴史の過程を表したものであるが、あらためて検証する。

**問** 市役所正面側にある「皇太子妃ゆかりの地」の看板を「皇后陛下ゆかりの地」に変えてほしいという市民の声があるが。



髙岡 輝夫 議員



「皇太子妃ゆかりの地」を「皇后陛下ゆかりの地」に

**問** 菅川流れ夕日会館と村上市の和解は、被告側の請求権が留保されていると思うが、新しく指定管理者となる団体には伝えていくか。

**答** 被告側の明け渡し以外の請求権は、存在しないので、新しい管理者に伝える必要がない。トイレ等の費用は請求を受けていない。

確保できることなどが実績の差となっている。  
**問** 市長のリーダーシップと職員意識改革が都城市の実例である。本市は可能性があると思うので、当面10億円、将来30億円を目標としてもらえないか。  
**答** 私自身が目標を改めて掲げさせていきたきながら前に進めていきたい。

## 人口減少と向き合う

**問** 令和元年度が村上市総合戦略5カ年計画の実施最終年となる。この村上市総合戦略は人口減少問題を視野に策定された計画であるが、人口減少と、どう向き合い行政運営を進めていくのか。  
**答** 人口減少になかなか歯止めがかからない状況の中でも、引き続き多方面からの取り組みを展開していくことは重要である。今後行政サービスの維持するためにも行政コストの削減や見直しを行いながら、効率的な行政運営を行い、効果の高い事業を選択しながら実施していく。



瀬波温泉街の核になれるか

**問** 平成29年に購入した瀬波温泉「旧香藝の郷美術館土地・建物」売買契約書締結にあたり、購入価格が不当に高いのではないかとの理由で損害賠償を求める住民監査請求を市民有志から起こされた。売買契約締結以降、市民および瀬波温泉関係者の方々から購入に対する厳しい意見や情報が寄せられた。しかも、住民監査請求は監査委員に棄却され、結果を不服とした市民有志が提訴し住民訴訟へと発展した。「旧香藝の郷美術館土地・建物」売買契約については議会議決以降、市民の関心は高くなっている。そのような中、村上市はどのように事業を進めていくのか。  
**答** コンサルタント会社から提案された、施設の利活用を促進するための最低限の整備を参考に、今後の社会情勢や観光ニーズを捉え、順次時期を見極め改修等進めていきたい。



佐藤 重陽 議員

# 浴室等のタイル修繕にも補助を

**問** 生活再建のため、被災住宅リフォーム事業による支援を行ったが、申請期限までの申請者は予定見込み数の600件に対して、101件に留まっている。補助対象の屋根瓦・外壁・基礎修繕工事以外の箇所に甚大な被害を受けている被害者が多いと思われる。今後、補助対象工事として、室内の壁・浴室のタイル等の修繕も補助金が受けられるように、被災住宅リフォーム事業の対象工事をさらに拡充すべきでないか。

**答** 被災住宅リフォーム事業は、県の交付金や補助金を活用し実施



補助対象外の浴室タイル



本問 善和 議員

していることから「耐震性の向上に寄与する」ことが原則にある。浴室や台所等のタイルは耐震性に寄与する構造体とならないことから補助対象外としている。このようなことから、さらに対象工事を拡充する考えはない。

**問** 津波による避難のため、夜間に裏山の神社等の高台まで避難するには足元が暗く、苦労したと聞いている。この課題を解決するため、ソーラー式照明器具の設置を地域まちづくり交付金の対象工事として取り扱うことができぬか。

**答** ソーラー式照明器具は大変効果的な手法と考えていることから、現在2基の設置準備を進めている。今後は年次計画で設置を考える。また、政教分離に反しない範囲で、地域まちづくり交付金を充てることは可能と考えている。

# 子育て支援の拠点整備を

**問** 子どもたちが冬期間や雨天時でも屋内で遊べる施設や公園を整備してほしいと、市民や団体からの要望を伺っている。空き校舎、空き店舗等をユニバーサルデザイン(※)により整備し、子育て支援の拠点として活用することについて伺う。

**答** 天候に左右されない屋内などで遊べる施設の充実を望んでいる保護者の声が非常に多くある。ニーズ調査からも、屋内で遊べる施設の充実を積極的に進めるべきとの回答もあり、この施設整備の優先度は高いと認識している。誰もが利用しやすく、また多くの方々に利用してもらい、すべての子どもたちが健やかに成長できるよう、屋内で遊べ



鈴木 一之 議員



市民厚生常任委員会での視察先「屋内子ども遊び場」(足利市)

る施設を備えた子育て支援の拠点整備について、引き続き検討をしていく。

**問** 農福連携は、障がい者等が農業分野での活躍を通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みだが、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手確保等の効果もある。については、県事業である農作業受託サポーター配置事業を導入する考えは。

**答** 障害福祉サービス事業所みどりの家が、農作業受託サポーターであり、事業所とサポーターとの調整を行う下越地区唯一の共同窓口で、県からの事業委託を受けて取り組んでいることから、本市も協力して、障がい者施設からの物品の購入等を引き続き行っていく。

# ポイントカード事業の導入を



小田 信人 議員

**問** 行政、地域商店街、大型店とが連携した、市独自のポイントカード事業を展開することにより、経済活性化を図るとともに、社会貢献活動や健康増進事業等の市主催の事業促進を図る考えはないか。

**答** 市内の加盟店のみで使える地域ポイントカードを発行し、市外への買い物流出を抑制し、公共施設の利用や市の事業に参加することでポイントが付与されるなど、先駆的な取り組みであると認識している。地域経済活性化および市主催事業促進の手法の一つとして研究したいと思う。

**問** 国の施策であるプレミアム付商品券の利用状況と効果について、どのように考えるか。

**答** 11月30日現在、低所得者向け商品券の交付決定者は4503人で、対象者の38・1%である。子育て世帯向け商品券については、申請の必要はなく、対象となる959人に引換券を交付済みである。

効果については、低所得者と子育て世帯の家計への負担軽減という観点から、一定の効果はあると考えている。

**問** 住宅リフォーム事業補助金の新年度予算への計上はどのようになるのか。

**答** 4月早々から事業着手できるよう、また、増税後の景気維持の支えとするため、今定例会で債務負担行為を提案し、予算は今年度と同額の6千万円と考えている。



とまチョップポイントを活用した事業の仕組み (経済建設常任委員会の行政視察資料より)

# 気候変動に耐える稲作を



これからも良質米が期待できる水田に

**問** 近年になく岩船産「シヒカリ」1等米比率が非常に低いが、その原因と対策は。

**答** 品質低下の主な要因は、台風10号のフェーン現象によるものであり、格落ち理由は、除く青未熟粒や心白粒によるものである。対策の動きについては、岩船農業振興協議会作物部会において関係機関と連携し、令和元年度の分析、作柄と品質向上に向けた検討を行っている。

**問** 毎年、栽培指針等については、県が主導的立場で進めているが、異なる栽培方法等、実証ほどの研究が

されているか。

**答** 毎年「岩船米重点技術対策」を策定し、技術指導や実証による検証を行っている。また、管内農業者3人を新潟米管理対策推進員に任命し、播種から収穫までの間、生育および管理データの提供を受け、異常気象時等の判定や対策情報に役立てている。

**問** 県では高温に強い品種改良の研究を進めているのか。

**答** 新品種や新技術の開発に取り組み、高温化においても品質を確保できる極早生品種を、令和2年度を自途に選定し、3年程度の適地適応性試験を行い、普及性を検討することが決定されている。新品種や新技術の導入と併せ、地域別に想定されるフェーン現象がもたらす米の生育に対するリスクを予測するシステム等に取り組んでいく。



木村 貞雄 議員

# 荒川総合体育館の耐震改修は

**問** 平成27年度に実施した耐震診断結果に基づく今後の耐震工事の方向性についてどうなっているのか。

**答** 現在荒川総合体育館については未着手の状況であるが、今年度中に「将来に向けたスポーツ施設の整備方針」について整理する予定。荒川総合体育館の耐震改修工事についても、この中で方針を整理していく。

**問** 具体的な時期は示せるか。  
**答** スポーツ施設に限らず、学校や



早急な改修工事が望まれる荒川総合体育館



高田 晃 議員

他の公共施設など、総合的に判断する必要があるので、設計や工事を行うのか、具体的なことは現時点では示せない。

**問** 耐震診断結果でも強い力が一集中して加われれば崩れる可能性があるなど、危険性が認められている。人間でいえば精密検査で悪い所が見つかって何もしないようなもの。早急に対処すべきと思うが、市長の見解を伺う。

**答** 耐震診断結果については把握しており、教育委員会に対応検討を指示している。

危険を伴うところを供用していること自体、早急に対応しなければならぬのは当たり前の話だが、時間が経過しているのも事実。

どのような形にすればよいのか、早急に結論を得なければならぬと考えている。

## 教育の現場にも「働き方改革」



稲葉久美子 議員

**問** 文部科学省は、教員の働き改革を進めるために、勤務時間を年単位で管理する「変形労働時間制」を導入しようとしている。教職員の勤務時間短縮に向けての方向性は。

**答** 各教職員の勤務時間は、タイムカードによって適正に管理されている。市教育委員会では、勤務時間が長時間に及ぶ場合は、校長が個々の教職員に指導することとしている。

また部活動の時間は、「村上市部活動方針」に基づき部活動ごとに年間計画を作成し、長時間残業する教職員は年々減少傾向にある。今後とも保護者や地域の理解を得ながら、残業時間短縮に取り組んでいく。



急ピッチで建設が進む新村上総合病院

が発表になったが、どのように受け止めたか。

**答** 厚生労働省と県立病院経営委員会による一連の公表については、村上総合病院の移転新築に関わらず、地域の特性や人口動態、限られた医療資源の有効活用などを考慮の上、将来に向けて持続可能な医療を確保しなければならぬ。県には研修医確保を切望し、市では臨床研修病院である村上総合病院の移転新築や医学生修学資金貸与制度の運用により引き続き医師確保対策を進める。

**問** 妊婦の医療費助成が実施されていないのは県内で村上市だけである。実施すべきでないか。

**答** 子育て支援の観点からも、その効果について検討を重ねている。引き続き検討していく。

# 市町村合併後12年の検証は



平山 耕 議員

**問** 本市の誕生から12年が経過しようとしているが、人口減少問題など市が抱える問題は山積している。少子化対策の内容は。

**答** 本市では、人口減少に対応するため「村上市総合戦略」に基づき、子ども医療費助成や多子世帯の保育料の負担軽減など、子育て世帯の応援や市独自の奨学金返還支援制度による若者のUターン対策等、多方面から取り組みを展開している。

**問** 農林水産業の各分野における後継者育成等従事者への支援策は。

**答** 農業では、国の事業である農業次世代人材投資事業や市単独事業の就農支援補助金による新規就農者への支援を行っている。林業

では、国の支援事業である「緑の雇用新規就業者育成推進事業」を活用して、林業事業者が新規就業者を対象に研修を実施しており、直近3年間の実績は39人に及ぶ。

**問** 本市の中小企業振興および雇用創出について、その対策内容は。

**答** 中小企業振興基本条例を踏まえ、産業支援プログラム事業補助制度を創設し、市内産業の活性化に取り組んでいる。

**問** 行財政改革による市職員削減は、

**答** 合併当初より215人減である。

**問** 官民連携による空き家対策は。

**答** 市内には現在980件の空き家があり、活用や売却については不動産業者の方へ相談している。今後連携について協議していく。



不動産業者と連携し空き家問題の解決を



神林地区のスクールバス、通園バス

理料の場合は、賃金構造基本統計調査の職種ごとに単価および最低賃金を用いており、適切な積算となっている。

**問** スクールバス等の運転業務委託の契約について、2月まで直接指揮命令を中学校の用務員が行っていた点を新潟労働局に照会したところ、それも改めて市に確認、指導したと明確な回答があった。来年度の運転業務委託について、これから入札だが、改善結果を聞きたい。

**答** 指導事項は、①今後労働者の選定等に関与していると判断されないよう改善措置を講じること、②今後適正な労務委託となるよう理由を明示、あるいは指示系統の明確化等の改善可能な措置を講ずることについて経費負担のあいまいな部分を改める、ということであった。既に改善報告書を提出し、業務を進めている。



竹内喜代嗣 議員

## バス運転業務改善進む

**問** 市内の現状は、消費税の8%増税以来景気は冷え込んだまま、10%増税で致命的とも言える状況となってきた。収入が少ない人ほど結婚しない傾向がある。若者が家庭を持てるような職場が必要だ。

**答** ポイントは、増税に見合う人件費と考えるが、市内最大の職場である村上市の委託を受けている請負会社や指定管理の現場で、消費税増税に見合う人件費となっているか。

**答** 市が発注する場合の人件費の積算については、工事費等の場合は公共工事設計労務単価を用い、指定管

# 産業振興で地域に活力を

**問** 朝日地区では農地基盤事業への地域からの要望があり、地元の合意形成へ活動しているが、市は基盤整備事業にどう対応していくのか。

**答** 県の農地中間管理機構関連農地集積事業を念頭に、地元農家と県をはじめとする関係機関と連携し、担い手の確保や育成とともに、農地の集積や生産コストの低減を進め、足腰の強い農業の実現に向けては場整備事業を推進していく。

**問** 儲かる農業の実現へ県の園芸振興基本戦略が策定されたが、本市の園芸生産の今後の取り組みは。

**答** 産地交付金や村上市農業振興事業補助金、農林県単事業などを活用しながら、ネギを中心とした園芸品目のさらなる生産拡大を図るとともに、水稲との複合経営を推進し、農業者の経営安定と所得向上に努めていく。

**問** 森林整備と併せ、本市での木質バイオマス発電事業を積極的に推進する考えは。

**答** 民間企業により、小型バイオマス発電設備を市内に10基設置する計画が進められている。本市は森林資源から算出される木質バイオマス量により大型の発電所の安定稼働は難しいとされるが、今後の新たな技術的進歩や基盤整備の改善等による森林資源の利活用によっては大きく転換する可能性もある。本市の森林整備を推進するためにも、木質バイオマスの活用を検討していく。



渡辺 昌 議員



館腰地区で行われた基盤整備事業の説明会の様子

## 議会の見える化を強化

### 広報特別委員会 行政視察レポート

広報特別委員会では、11月11～12日、茨城県取手市議会と栃木県宇都宮市議会で研修してきました。

#### ◆茨城県取手市議会

取手市議会では、議会基本条例の下、議員と議会事務局職員が上下関係を作ることなく一体となり、事務局職員が企画した議員研修会や議会ホームページに市政の課題を数多く掲載するなど、多方面にわたり取り組んでいます。議員と議会事務局がコミュニケーションを図りながら、「議会の見える化」への取り組みを進める重要性を認識しました。

また、毎年実施している市民との意見交換会ですが、当初は議会の報告会として実施していたところ参加者が減少したため、テーマを決めての意見交換形式に転換し、車座になって対話重視に工夫をしたところ、参加者が多くなったそうです。主催者となる議会側の話しやすい場づくりが大切と感じました。

#### ◆栃木県宇都宮市議会

宇都宮市議会の広報誌の表紙は市民が集う写真が多く使われており、市民と議会が近づいた印象を受けました。近年ではホームページのアクセス数も増加し、議会広報の取り組みが市政に対する市民意識の向上につながるものがうかがえました。

市民のためにどのような議論がなされ、どう展開し対処されたかという視点でグラフやイラストも多く記事に活用されており、興味を惹きつけると同時に、若い世代でも読んでもらえる紙面づくりの工夫が随所に取り入れられています。QRコードの活用によりホームページのアクセス数が3倍になったということです。本市議会でもより良い情報発信に努めていきたいと思えます。



取手市議会では議場で研修

# 委員会の審査報告

◎は委員長  
○は副委員長

## 総務文教

◎鈴木いせ子 ○小杉 武仁  
鈴木 好彦 高田 晃  
小杉 和也 板垣 一徳  
嵩岡 輝夫 佐藤 重陽

◆村上市会計年度任用職員  
の給与及び費用弁償に関する  
条例制定について

**問** 本市では全てパートタイ  
ム職員として雇用を予定して  
いると説明がありました。が、  
保育士や療育指導員など、正  
規職員と同一労働の職種につ  
いては、待遇改善や社会保障  
の面から、フルタイム職員と  
して雇用すべきでは。

**答** 保育士など人材確保が困  
難な職種や特殊な技術を要す  
る職員については、フルタイ  
ムとしての雇用も有効な手段  
と考えていますので、今後検  
討します。

**問** 会計年度任用職員給与の  
制度設計の段階では、国の事  
務処理マニュアルを遵守する

ほか、近隣市町村の状況も参  
考にしておりますが、調査  
の状況は。

**答** 県の勉強会等に参加して  
情報交換を行い、情報共有を  
基に制度設計に反映させてい  
るところです。

**問** 保育士に関しては、新発  
田市や胎内市の期末手当は本  
市より上回っていますが、実

# 人材確保に向け改革を加速

態は。

**答** 確かに新発田市と胎内市

の期末手当は本市より上回っ  
ているのが事実ですが、時間  
当たりの単価や、給与の格付  
けが異なっていますので、最  
終的な個人の総収入額に換算  
すると本市と差はないと考え  
ます。

**問** 会計年度任用職員の給与  
および費用弁償に関する経費  
は、どの程度を見込んでいま  
すか。

**答** 現在の非常勤特別職と臨  
時職員を会計年度職員に移行

常勤のものの報酬及び費用  
弁償に関する条例の一部を  
改正する条例制定について

**問** 区嘱託員は非常勤の特別  
職ではなく、どのような身分  
になりますか。

**答** 現在、区嘱託員は非常勤  
職員ですが、嘱託員の要件が  
厳格化されるため、私人とし  
て従来の業務をお願いするこ  
とになります。

**問** 私人ということは、政治  
活動も可能になりますか。  
**答** なります。

◆村上市新潟県厚生農業協同  
組合連合会村上総合病院移

転新築支援基金条例の一部  
を改正する条例制定につい  
て

**問** スケートパークをはじめ、  
村上総合病院移転新築に係る  
補助金の財源にも過疎債を充  
当することですが、市の  
大型事業に過疎債を使うこと  
で、来年度以降の事業に影響  
はありませんか。

**答** 国では活用するにあたり  
年度ごとの枠があり、今回も

村上総合病院の補助事業に対  
して申請額の9割を超える過  
疎債の同意を得ましたが、他  
の事業の影響はないものと考  
えます。

### 元年度一般会計補正予算

【歳出】  
・総務費

**問** 市長交際費について、30  
万円を増額補正しています  
が、その内容は。

**答** 慶祝行事の一環として小  
和田家へお届けした村上木彫  
堆朱の記念品について、予算  
積算時との差額分20万円と、  
災害見舞金に係る交際費不足  
分10万円の補正です。

・教育費

**問** 長津研修センター経費に  
ついて、光熱水費を補正して  
いますが、主な利用者は。  
**答** 大学生やスポーツ関係の  
合宿などの利用が多いです。

### ◆条例改正 5件

### 元年度特別会計補正予算

◆情報通信事業特別会計

以上を中心に審査しました。

◆村上市の特別職の職員で非

人材確保はどの自治体も急務



# 市民厚生

◎渡辺 昌 ○河村 幸雄  
 尾形 修平 大滝 国吉  
 平山 耕 稲葉久美子  
 木村 貞雄 長合川 孝  
 鈴木 一之

◆村上市デイサービスセンター  
 一条例の一部を改正する条例制定について

**問** 平成28年4月から通所介護について、定員19人以上が従来の通所介護、18人以下が地域密着型通所介護に分かれました。上海府デイサービスセンターの指定管理者は市外の事業者ですが、介護士不足などで運営が大変だということとです。なぜ地域密着型通所介護に移行したのですか。

**答** 上海府デイサービスセンターについては、法改正の時点で定員が18人でしたので、法改正により地域密着型通所介護施設としての運営に変わったものです。

**問** 改正前の通所介護で、市外在住者の方の利用は。

**答** 広域型の通所介護でしたが、利用はありません。市外の方の利用がない状況

の中、それまでの施設を自己負担が割高な地域密着型に移行するということは、施設の経営改善が目的の一つかもしれませんが、現状はそのようになつていないと思つても、そもそも法改正の趣旨は。

**答** 地域密着型として施設の運営が変わつたもので、その名称どおり、より地域との結び付きの強い施設として位置づけられたものです。

◆公の施設に係る指定管理者

## 新たなグループホーム開設

の指定について「神林いこの家」

**問** 老朽化が進み将来的に運営できないかもしれないとのことですが、3年後の受け皿として想定しているところは。

**答** いくつか検討しているところはありますが、神林いこの家は築40年を経過し、修繕箇所が生じています。指定管理期間を3年とし、その間に今後の運営を検討したいと考えています。

◆公の施設に係る指定管理者の指定について「あらかわ病児保育センター」

**問** 先般、利用対象年齢を小学3年生から6年生に引き上げましたが、その後の状況は。

**答** 9月から拡充され、現在4年生が1人登録しています。利用には至っていません。

**問** 利用者のうち、村上市と関川村の方の利用割合は。

**答** 平成30年度の実績で、利用者の総数は353人、市内の方が318人、関川村の方

管理施設の職員の給料はどのようになりそうですか。

**答** 現段階では、通常の人件費で積算していますが、会計年度任用職員との差については、今後見直しを図つていくということと検討してまいります。

**問** 小学校が統合され、施設を利用する子どもたちの送迎など指定管理者の負担が多くなるのが予想されます。学校教育課と相談してスクールバスによる送迎ができないかと提案しましたが、その後の動きは。

**答** スクールバスによる送迎について、実施に向けて課題も多いことから、検討を図りたいと思います。

◆2元年度 一般会計補正予算

・民生費  
**問** 社会福祉費の障害者自立支援経費で、障害福祉サービス費が約1億2500万円を増額計上しています。先般、閉会中事務調査でグループホーム「はまえんどろ」を視察しましたが、その施設の分はどのくらいですか。

**答** 1018万円の見込みです。



アパートを改装し活用している「グループホームはまえんどろ」

◆条例改正 2件  
 ◆指定管理者の指定 2件  
 ◆元年度 特別会計補正予算  
 ◆国民健康保険特別会計  
 ◆後期高齢者医療特別会計  
 ◆介護保険特別会計

以上を中心に審査しました。

# 経済建設

◎川村 敏晴 ○小田 信人  
川崎 健二 山田 勉  
本間 善和 竹内喜代嗣  
小林 重平 大滝 久志

## ◆市道路線の変更について

**問** 塩町北裏線について、既存の市道を民間開発によって分離した形ですが、今までの道路はどのようになりますか。

**答** 既存の道路と新しい道路を交換する形で付替えをして、敷幅が90mしかないところに用地の寄附を受けて、新しく4m道路を掘削する計画。

## ◆村上市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

**問** 下水道課と水道局が統合し上下水道課になるといいますが、全体の事業に対する職員の配置は。

**答** 職員の配置については、新しい組織として人事異動で公表にならない限り把握はしていません。

**問** 独立採算制を採る公営企業会計に簡易水道事業が移行

すると、水道料金の値上げにつながるのではないですか。

**答** 公営企業化に伴う簡易水道条例の改正はなく、上水道事業会計と一本化するものではないので、今までと同じ形で継続します。

## ◆公の施設に係る指定管理者の指定について

**問** 提案されている指定管理団体では、観光客の少なからず、具体的な対策はどのよう

# 指定管理施設の在り方は

に考えていますか。

**答** 例えば一つの案として、桑川漁港から水揚げされる魚の開きなどの加工品を商品化し冬場の収入源とするなど、新たな事業を展開したいとのことでした。

**問** 道の駅「笹川流れ夕日会館」がどのように買い物困難者に対応し、解消するのか、

具体的な対応策について、どのような提案を受けましたか。



地域活性化の拠点としても期待される「笹川流れ夕日会館」

な提案を受けましたか。

**答** 現在、観光列車「海里」の乗客への対応を行っています。また、それについても継続し、新たな企画があればその都度JR東日本と協議し、協力していきたい、とのことでした。

**問** 現在勤務されている方々の雇用は、指定管理後どのようになりますか。

**答** 今後の継続勤務の希望をお聞きし、希望する方については引き続き雇用していただくことになっています。

## ◆公の施設に係る指定管理者の指定について

**問** 提案されている指定管理団体は、平成18年から4期にわたる実績がありますが、今回の再指定では、なぜ指定管理期間が5年間でなく3年間なのか。

**答** 勝木周辺の拠点化の協議の中でも、交流の館「八幡」を含めた検討がされており、その結論が出ていないことから、3年間の期間の中でその

在り方について方向性を出すためです。

## 元年度 一般会計補正予算

### 【歳出】

・農林水産業費

**問** 農地費について、山北地区温出地内と越沢地内で施工される新規工事の内容は。

**答** 越沢地内の寒川頭首工復旧工事については、台風の後旧工事にしている方から、コンクリートの水たき部分に損傷があるとの通報があり、その箇所の修繕です。また、温出地内の小俣川排水樋管護床工事については、第3回定例会で補正した設計委託料の工事分です。

- ◆市道路線の認定 1件
- ◆条例改正 1件
- ◆指定管理者の指定 2件

## 元年度 特別会計補正予算等

- ◆下水道事業特別会計
- ◆集落排水事業特別会計
- ◆簡易水道事業特別会計
- ◆上水道事業会計

以上を中心に審査しました。

# 令和元年 第4回定例会 議決結果

第4回定例会 議決結果(1)

令和元年第4回定例会が、12月3日から20日までの18日間の会期で開催され、市長提案40件、議会提案の請願2件を議決し、閉会しました。

## 議案審議結果

議案番号	事 件 名	結 果	表 決	議案番号	事 件 名	結 果	表 決
請願第1号	生活保護基準引下げ中止を求める請願書	不採択	賛成少数	議第151号	公の施設に係る指定管理者の指定について(村上市コミュニティデイホーム)	原案可決	全会一致
請願第2号	国民健康保険税(料)を協会けんぽ並みに引き下げを求める請願書	不採択	賛成少数	議第152号	市道路線の認定について	原案可決	全会一致
議第134号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(加藤 直子:新任)	原案同意	全会一致	議第153号	市道路線の変更について	原案可決	全会一致
議第135号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(佐野 一彦:新任)	原案同意	全会一致	議第154号	村上市下水道事業の設置等に関する条例制定について	原案可決	全会一致
議第136号	村上市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について	原案可決	賛成多数	議第155号	村上市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第137号	村上市議会議員及び長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び村上市議会議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第156号	公の施設に係る指定管理者の指定について(笹川流れ夕日会館・桑川駅前広場駐車場)	原案可決	賛成多数
議第138号	村上市監査委員条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第157号	公の施設に係る指定管理者の指定について(山北ゆり花温泉・交流の館「八幡」)	原案可決	全会一致
議第139号	村上市行政組織条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第158号	公の施設に係る指定管理者の指定について(大津クロッカス農村公園)	原案可決	全会一致
議第140号	村上市の特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第159号	令和元年度村上市一般会計補正予算(第8号)	原案可決	全会一致
議第141号	村上市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第160号	令和元年度村上市情報通信事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議第142号	村上市新潟県厚生農業協同組合連合会村上総合病院移転新築支援基金条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第161号	令和元年度村上市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議第143号	村上市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第162号	令和元年度村上市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議第144号	下越障害福祉事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	原案可決	全会一致	議第163号	令和元年度村上市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致
議第145号	村上市病児保育施設設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第164号	令和元年度村上市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議第146号	村上市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第165号	令和元年度村上市集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議第147号	公の施設に係る指定管理者の指定について(福祉センターゆり花会館)	原案可決	全会一致	議第166号	令和元年度村上市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議第148号	公の施設に係る指定管理者の指定について(神林いこいの家)	原案可決	全会一致	議第167号	令和元年度村上市上水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議第149号	公の施設に係る指定管理者の指定について(あらかわ病児保育センター)	原案可決	全会一致	議第168号	村上市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第150号	公の施設に係る指定管理者の指定について(神林学童保育所)	原案可決	全会一致	議第169号	損害賠償の額を決定し和解することについて	原案可決	全会一致
				議第170号	令和元年度村上市一般会計補正予算(第9号)	原案可決	全会一致

※網掛けの議案は次ページに賛否を掲載しています。

## 各議員の賛否

議案審議結果のうち、賛否が分かれた等の網掛けの議案について、議員の賛否を公表します。

◎：会派の代表者 \*：会派の会計責任者

議案番号	鷺ヶ巣会					新政村上					清流会				高志会		市政クラブ		日本共産党		賛否結果						
	◎板垣一徳	*渡辺昌	大滝国吉	小田信人	鈴木いせ子	本間善和	河村幸雄	◎長谷川孝	*大滝久志	山田勉	佐藤重陽	木村貞雄	◎川崎健一	*平山耕	※1三田敏秋	小林重平	鈴木好彦	◎尾形修平	*小杉武仁	鈴木一之	◎川村敏晴	*小杉和也	◎竹内喜代嗣	*稲葉久美子	高田晃	高岡輝夫	賛成
請願第1号	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	-	×	×	×	○	×	×	×	○	※2	○	○	10	14
請願第2号	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	○	※2	○	○	4	20
議第136号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	※2	○	○	23	1
議第156号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	○	×	23	1

※1 議長は地方自治法第116条の規定により表決に参加しません。

※2 欠席したため表決に参加しませんでした。

## 請願の審査結果

件名	請願者	紹介議員	所管委員会	審議結果
生活保護基準引下げ中止を求める請願書	村上生活と健康を守る会 会長 斎藤 正直	竹内喜代嗣 高岡 輝夫	市民厚生 常任委員会	不採択
国民健康保険税（料）を協会けんぽ並みに引き下げることを求める請願書	村上生活と健康を守る会 会長 斎藤 正直	竹内喜代嗣 高岡 輝夫	市民厚生 常任委員会	不採択

※請願は本会議で採決が行われ、全会一致または賛成多数の場合、採択されます。

## 議会中継は パソコン・スマートフォンで



村上市議会では、インターネットで議会中継の動画配信を行っています。

本会議当日は生中継、録画中継は、本会議終了後概ね5日後（土、日曜日、祝日を除く）からご覧いただくことができます。

ご家庭などでお気軽にご覧ください。



村上市議会ホームページ  
<http://www.city.murakami.lg.jp/site/shigikai/>



クリック!!

## 人権擁護委員が 決まりました

次の方が議会で同意されました。  
(任期：令和2年4月1日～5年3月31日)



加藤 直子氏  
(村上地区・新任)



佐野 一彦氏  
(村上地区・新任)

人権擁護委員は、人権擁護委員法の規定により、市長の推薦、市議会の同意を経て法務大臣から委嘱されています。法務局と連携して主に次の活動を行っています。

- ・人権相談を受け、問題解決のお手伝いをする。
- ・人権侵害による被害者を救済する。
- ・地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行う。

# 村上市の将来像を語る

## 高校生と議会の懇談会を開催

村上市議会では、平成30年度に引き続き村上市を担っていく若い世代である高校生を対象に、市内4つの高校・中等教育学校に議員が出向いて「高校生と議会の懇談会」を実施しています。

今号では、4校のうちすでに終了した村上桜ヶ丘高校、荒川高校、村上高校の様子について、各高校の懇談会に参加した議員が作成した原稿により紹介します。



今回出席した3年生のうち、すでに就職先が決まった生徒の大半は卒業後も市内に残るとのことで、転出超過による社会減が著しい本市の状況もあり、議員側からは安堵する声が多く挙がりました。(渡辺 昌)

### 村上桜ヶ丘高校

充、買い物を楽しめる商業施設や娯楽施設が必要との意見が多かったほか、豊かな自然や食の魅力の発信、伝統行事やイベントの積極的なPRが地域の活性化につながるのではないかとの意見もありました。

11月8日、3年生12人に生徒会の2年生2人を加えた生徒14人と議員8人により、「若者たちが、住みたい、働きたいと思う村上市の将来像について」をテーマに、自分が住む地域への思いや課題など率直な意見を交わしました。将来にわたりこの地で生活するために、公共交通の改善や拡



もあり、新たな発見も見られました。有意義な懇談会でしたが、意見交換に具体性が示されない等の否定的な意見もありました。反省点を次回の改善に生かしたいと思えます。(高岡輝夫)

### 荒川高校

の役割と仕組み」についてプロジェクトで説明をしました。その後意見交換があり、生徒の皆さんから忌憚のない意見と、身近な要望、将来の村上に対する希望が寄せられました。高校生ならではの視点での提案もあり、新たな発見も見られました。

11月20日、政治に対する関心を高め、主権者として主体的に政治に参加することの意義について考えるため、「市議会の役割と仕組みを学び、村上市の将来を語ろう」と市議7人と生徒約50人が、主権者教育を兼ねて「村上市議会との懇談会」を行いました。最初に、市議から「市議会の



祭りがあることと両親や祖父母に会いに来ること以外、村上に帰ってくる魅力を見いだせない」「市内でも地域格差を感じる」など、若い世代の率直な考えに触れる貴重な機会となりました。(鈴木好彦)

### 村上高校

「観光業にお金を使い過ぎ。市民の生活に予算を使ってほしい」「JRやバスをもっと使いやすくしてほしい」「希望する就職先や進学先を近くに確保してほしい」「村上駅周辺の活性化を」などの希望のほか、「お

1月10日、村上高校1学年4クラスと議員12人が4班に分かれて懇談会を行いました。初めに各クラスに分かれて議会の仕組みの概略を解説し、各議員が議員を目指した動機等を発表した後、市の将来についてグループ討議を行いました。生徒からは「村上の特産品をアピールすべき」

市議会では、定例会の会期が終了すると各常任委員会に分かれ、行政課題など各所管事項について調査しています。

# 市政をチェック!

## 閉会中事務調査

閉会中事務調査



村上城跡は、平成5年に国の史跡指定を受けてから、毎年樹木の整備や石垣の修復など保全活動が行われています。文化財保護と自然環境保護との調和を図りながら史跡整備が進められており、石垣が崩落する危険性があつた出櫓台跡の修復工事が完了しました。今後は登山道を挟んだ下部に位置する黒門跡石垣の修復工事に移る予定です。今後整備基本計画に沿って整備が進められるよう、注視していきたいと思ひます。

**総務文教常任委員会**  
年3万人が登る  
城跡整備は



グループホームはまえんどうが岩船地域に開設されました。一人一人の個性を大切に家庭的な雰囲気での共同生活を営み、自立した生活を送ることができるところを目指した事業所です。また、新潟看護医療専門学校村上校では、地域医療を取り巻く環境は厳しく、医師や看護師不足が続く中、この村上の地に同校があり優秀な人材が育っています。地域医療の充実のため、この地で活躍されることを期待しています。

**市民厚生常任委員会**  
優秀な人材が  
育っています



特に冬期間は厳しい環境となり、高波や護岸の浸食により影響を受ける海岸部や国道345号について、村上地域振興局や副市長、本市担当課職員とともに上海府地区区長の皆さまから現地にて現状の説明を受けました。長い海岸線を有する新潟県としては、限りある予算の中ですぐに改良できる箇所は多くあるとは言えませんが、地元の声に耳を傾け、市議会としても働きかけていくことが大切であると感じました。

**経済建設常任委員会**  
海岸地域の改良促進を

委員会	調査日	場所	調査内容
総務文教常任委員会	11月7日	村上城跡 教育情報センター	村上城跡の整備状況等について
市民厚生常任委員会	11月15日	新潟看護医療専門学校村上校 グループホームはまえんどう	新潟看護医療専門学校村上校およびグループホームはまえんどうの現況調査
経済建設常任委員会	10月3日	上海府地区	上海府地区の海岸、国道等の現状把握について



広報特別委員会委員が  
おじゃましました！



## 女性農業者がもっと自由に楽しく

おおくら ゆりか  
大倉 憂理香さん (南田中)

元々、家が専業農家だったこともあり、幼いころから農作業を手伝っていました。高校で農業生物を学び、農業大学校では園芸経営科で野菜専攻でした。

農業をしようと思ったのは、野菜のことを深く学ぶうちに「奥が深くて楽しいな」と思ったことがきっかけです。

今は、トマトとネギとオータムポエムという品種のアスパラ菜を栽培しています。トマトとオータムポエムは直売やスーパーのインショップに、ネギはJA出荷しています。目標は、作っているトマトをブランド化していきたいことと、令和2年はイチゴを地面よりも高い位置で

栽培する「イチゴの高設栽培」をハウス一棟新設して挑戦しようと考えています。イチゴはJA北越後の紫雲寺地区が産地となっていますので、今はそちらで研修をさせてもらっていますが、ありがたいことにJA北越後を通して販売させていただくことになっています。

近年女性農業者が増えてきていますが、私は出産や育児と農業経営の維持についてまだまだ援助が進んでいないと感じています。これからは若手女性農業者が農業を安心して長く続けられるような環境を先駆けて声を上げ、作っていきたくと考えています。

### 政治家からの寄付行為は禁止です

公職選挙法により、寄付行為は禁止されています。有権者である市民の皆さんが求めることも禁止されています。

寄付行為には次の行為も含まれます。

- 入学祝、卒業祝、病気見舞い
- 結婚祝儀、葬儀の花輪・供花・香典 ※1
- お歳暮、お年賀、年賀状 ※2
- お祭りや町内会の催物への寸志や飲食物の差し入れ など

※1 政治家本人が結婚披露宴、葬式などに自ら出席してその場で行う場合には、罰則が適用されない場合があります。

※2 年賀状や暑中見舞い等、時候のあいさつを出すのは、「答礼のための直筆によるもの」以外は禁止されています。

詳しくは総務省ホームページをご覧ください。



総務省ホームページ

**令和2年4月19日(日)は市議会議員選挙(予定)  
みんなで選挙に行こう！**

### 令和2年 第1回定例会のお知らせ(予定)

2月12日(水)	請願・陳情の提出期限(正午まで)
25日(火)	定例会初日(本会議)
26日(水)	代表質問(本会議)
28日(金)、3月2日(月) 3日(火)、4日(水)	一般質問(本会議)
5日(木)、6日(金)	総務文教常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
10日(火)、11日(水)	市民厚生常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
12日(木)、13日(金)	経済建設常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
17日(火)	一般会計予算・決算審査特別委員会
19日(木)	定例会最終日(本会議)

\*この日程は変更されることがあります。  
\*開会時間は午前10時を予定しています。